

## 会 議 録

会議名	山陽小野田市図書館協議会		
開催日時	平成31年3月14日（木）午前10時から午前12時		
開催場所	山陽小野田市立中央図書館 第1会議室		
出席者	山本桂子会長、香川真澄副会長、笹村正三委員、城戸邦之委員、若山さやか委員、川上富士子委員、橋本慎二委員、梅津弘美委員、中村明美委員		
欠席者	なし	委員数	9人
		出席者数	9人
		欠席者数	0人
事務担当課及び職員	社会教育課 河上課長 中央図書館 山本館長、亀田副館長、金子主査、銭谷主任 厚狭図書館 渡邊副館長 6人		
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会あいさつ</li> <li>2 社会教育課長あいさつ</li> <li>3 委員紹介、職員紹介</li> </ol> 議事 <ol style="list-style-type: none"> <li>4 平成30年度事業報告について               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 中央図書館</li> <li>(2) 厚狭図書館</li> </ol>               山陽小野田市立図書館利用状況 平成24年度～29年度             </li> <li>5 平成31年度事業について               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 重点目標、(案)</li> <li>(2) 活動方針 (案)</li> </ol> </li> <li>6 その他</li> <li>7 閉会あいさつ</li> </ol>		
会議結果	○事務局より、山陽小野田市図書館協議会規則第3条第2項の規定により図書館協議会の会議の成立を報告。 ○議事 平成30年度事業報告について 事務局から、平成30年度中央図書館、厚狭図書館の事業経過について報告。 質疑事項 委員：事業報告書について中央図書館にもみの木広場、厚狭図書館に古文書解読学級、俳句学級の報告がないが。 事務局：次年度から報告する。 委員：コンサート開催の基準、選定、公演料について 事務局：出演者は、田村洋芸術顧問の関係するアーティストなどで別公演が近くで開催されたときなどにお誘いを受けて開催している。旅費はかかっていない。		

委員：引き続き、開催を希望する。

平成 31 年度重点目標（案）活動方針（案）について

事務局より平成 31 年度の重点目標（案）、活動方針（案）（中央図書館・厚狭図書館）について説明。

委員：障害者のよりどころがない。昨年度バリアフリー映画の上映があったが、また開催して欲しい。下松市では社会福祉協議会、教育委員会、ボランティアが協力して映画館でバリアフリー映画の上映会を実現し、山陽小野田市からも出かけた。地元でもやって欲しい。

事務局：検討したい。

委員：ふるさとのかみしばいについて作成したが、あまり使われていない。出向いて上演なども可能。PRを。

事務局：どこでも紙芝居（山口県観光連盟主催）の会場になっている。リストはHP上で公開している。

委員：郷土資料について、個人で詳しく、研究している人がいる。また、人気の造り醤油屋などとも連携して、今のうちに積極的に活用することはできないか。

事務局：全容が見えていない。集まってもらうなどして郷土資料のことなど聞きたい。

委員：人気のあるものは中央図書館、厚狭図書館どちらの館にも取り入れて欲しい。厚狭図書館の音読茶房や中央図書館の高校への図書テーマ展示など、高齢者や子ども等、自家用車がなくて遠くの館に行けない人がいるので、親近感が湧くのでは。

事務局：音読茶房は厚狭図書館が2年目になるので、その経験を生かして中央図書館での開催を考えている。

委員：平成 30 年度事業報告について、厚狭図書館の資料費が減額となっているが。

事務局：不要な法規の加除をやめたことが原因。図書購入費は減っていない。

委員：サイエンスカフェについて、薬学部が新設されたので講師として薬学部の新しい先生が担当できる。

委員：ホームページにイベントの情報が少ない。ホームページを見てイベントに参加する人を増やしては。

月毎のスケジュールは掲載されているが、年間スケジュールがあれば予定を調整して参加することができる。

薬学部の学生が増加していくので、詩カフェなど参加希望者がありそう。年に一回でも大学で開催してみてもどうか。

委員：新しいイベントを次々するのは、大変な負担。バランスを考えてやって欲しい。

事務局：職員数は、長期的に見れば増加している。

委員：かるたによるまちづくりということで、各学級にかるたが配布されている。かるたのイベントをやってみてはどうか。

事務局：厚狭図書館で開催した。小野田高等学校のかるた部には、地域に出て行って欲しいと考えている。

委員：高齢者の利用は多いか。

事務局：1番が60代、次が20代の子育て世代が多い。

委員：いろいろなカフェ（講座）があるが、談話スペースがあれば良い。図書館に来れば誰かいる・・・というような。

事務局：カフェ（講座）は図書館での人と人との出会いができればいいとの思いから始めた。独居老人など1日誰ともしゃべらない人もいる。おしゃべりできる場は必要と考える。グループ学習室（3人～6人）の使用ができる。テスト期間中などは生徒の利用が多いが、午前中など空いている。

委員：キネマ茶話会はどうか。

事務局：まだ浸透していない。

委員：映画という共通の話題があり、伸び代がある。人の和が広がっていくような談話スペースがこれからは必要では。

委員：厚狭の独居老人への宅配サービスは。

事務局：司書が選書し、社会福祉協議会のボランティアが配達している。利用は減ってきている。図書館独自の事業ではないので、積極的にPRして良いかどうか。

委員：映写会の字幕が読めない。椅子をずらすなど工夫して欲しい。

事務局：字幕を見せるためスクリーンを高くしたら画面が小さくなり、苦労している。

委員：持参のパソコンの利用は可能か。利用者の要望は。

事務局：スペースがあり、電源は取れるが、インターネットにはつながらない。利用者の要望はたまにある。

委員：本日返却された本のところが空になっている。もう少し置いて欲しい。他の人がどんな本を読んでいるか知りたい。

事務局：配架のタイミングの基準を考える。

委員：図書館の本を拾ったことがある。何年も返却されない本はどうなるのか。

事務局：不明本扱いとなり、年限が過ぎれば除籍になる。失くした時は同じ本を弁償してもらおう。入手不可なら類似の本を納めてもらおう。

委員：ポスターなど掲示物が多く、見づらい。

事務局：掲示場所は見易いように考えて決めているが、見た目なども気をつけていく。

委員：イベントは何を見て参加したか、調査しているか。

事務局：チラシ、ロコミ、広報が多い。

その他

事務局：4月末に中央図書館の入館者数が300万人に達成する見込み。大きな節目なので記念のイベントなどを考えている。

以上